

パラグアイ内政・外交報告（1月分）  
政治情勢

2020年2月作成

1 内政

（1）麻薬組織メンバーの大規模脱獄

19日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市に所在する地方刑務所から、ブラジル麻薬犯罪組織であるPRIMER COMANDO CAPITAL (PCC) のメンバーを含む76名が脱獄する事件が発生した。ペレス法務大臣は、内務大臣、国防大臣、麻薬密輸対策庁長官、警察庁関係者及び検察庁関係者と合同記者会見を行い、同刑務所には、警察官及び軍の警護員が派遣されていたにも関わらず、脱獄事件が発生したとして、これらの処分も検討する意向を明らかにした。また、本件の責任を取る形でボルペ法務副大臣が辞任した。

2 外交

（1）リバス外相によるベネズエラ情勢にかかる声明

5日、リバス外相は、自身の公式ツイッターにおいて、以下のとおりベネズエラ情勢に関する声明を発表した。

・パラグアイは、ニコラス・マドゥーロ不正体制がベネズエラ国民議会選挙を妨害する目的で同国民議会議員、報道、他の団体・個人に対して行った暴力的な弾圧に遺憾の意を表す。

・このようにして、ベネズエラに残された民主主義の最後の砦がより一層侵害されており、自由で透明性のある選挙の実施をとにかく回避しようとするマドゥーロ及びその側近らによる意図がより一層露見している。

・パラグアイは、国民議会及びグアイド暫定大統領に対する、基本的自由を妨害するすべての脅迫行動の即時停止を勧告する。

（2）国連内陸開発途上国グループ（LLDC）議長国任期終了

7日、パラグアイは国連内陸開発途上国グループ（LLDC）議長国（2018-2019）期間を終了し、カザフスタンに次期議長国を受け渡した。

（3）台湾総統選への祝意

11日、アブド・ベニテス大統領は、公式ツイッターにおいて、蔡英文・台湾総統の再選に祝意を表した。また、同日、パラグアイ外務省は同総統再選に祝意を表したプレスリリースを発出した。

（4）核兵器禁止条約の批准書の提出

23日、アリオラ国連代表部大使は、国連に核兵器禁止条約の批准書を提出した。核兵器禁止条約は国連において135カ国が交渉し、2017年7月7日に採択された。パラグアイは2017年9月20日に署名し、2019年12月9日に法令第6456号を以て国会承認した。パラグアイ共和国は、批准書を提出した35カ国目の国

となる。同条約は50カ国が批准書を提出した時点で発効する。

### 3 要人往来

#### (1) 往訪

- ベラスケス副大統領, グアテマラ・グアテマラシティ (大統領就任式出席)
- ロペス財務大臣, 米・ワシントン DC, NY (ソブリン債発行関連会合に出席)
- パニアグア下院議員, イバラ下院議員 (コロラド党), 台湾 (公式訪問, 経済関係閣僚と会合)
- リバス外相, ベルギー・ブリュッセル, スペイン・マドリッド (ベルギー : EU 関係者との会議, サントス・シルバ葡外相と会合, スペイン : 公式訪問)
- ロメロ女性大臣, チリ・サンティアゴ (第 14 回ラテンアメリカ・カリブ女性地域会議に出席)
- ペレス法務大臣, 伯・ブラジリア (伯法務大臣との会議)